

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

□ 宮崎県第19週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は894人（定点あたり25.7）で、前週比145%と増加した。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

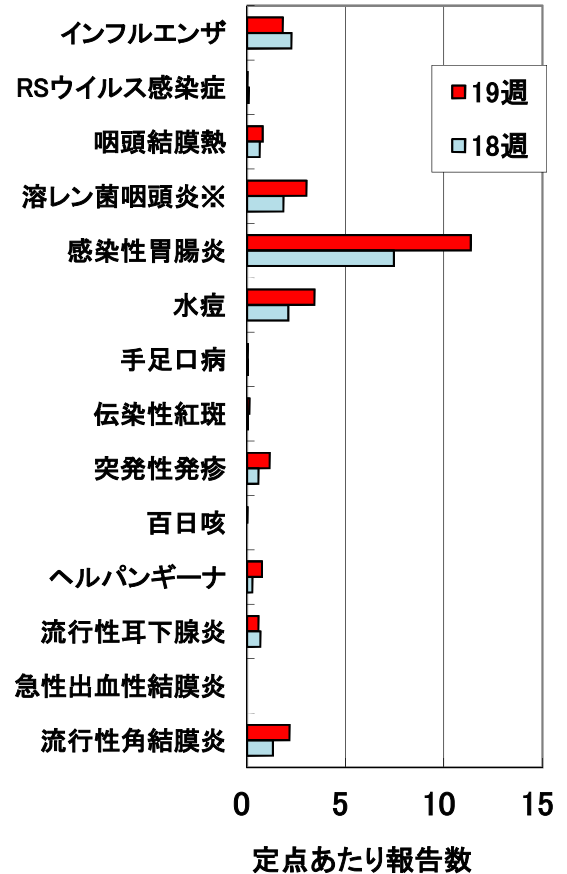
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は109人（3.0）で前週比163%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（2.6）の約1.2倍である。延岡（8.0）、日南（5.3）保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から8歳で全体の約7割を占めた。

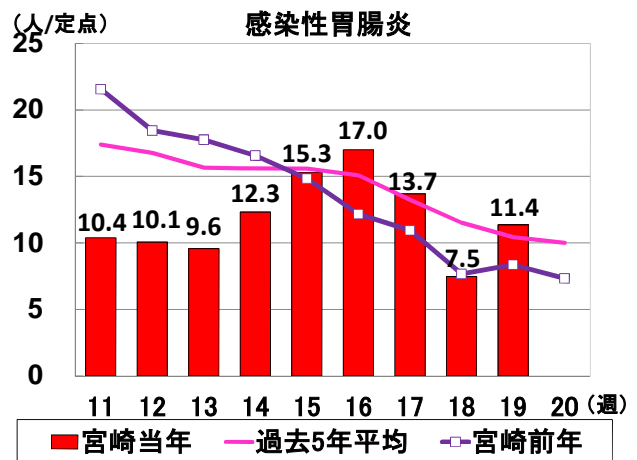
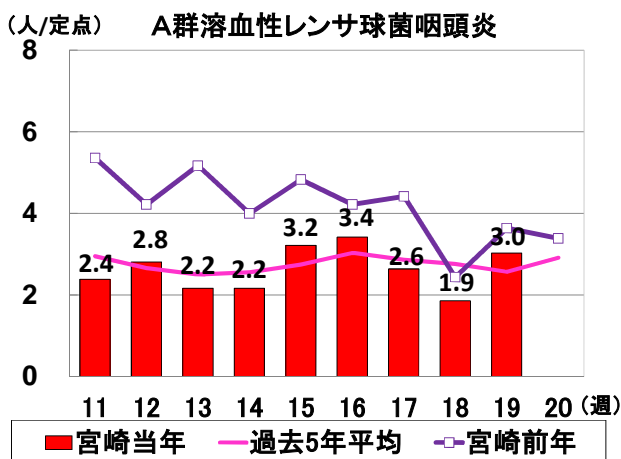
【感染性胃腸炎】

・報告数は409人（11.4）で前週比152%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値（10.4）の約1.1倍である。日南（21.0）、延岡（16.0）、小林（15.7）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳で全体の約4割を占めた。

《前週との比較》



※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○細菌性髄膜炎：宮崎市（1人）保健所から報告された。患者は5歳で病原体は不明。

○マイコプラズマ肺炎：延岡（1人）保健所から報告された。患者は19歳で、病原体は *Mycoplasma pneumoniae*。

□ 流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
日南	感染性胃腸炎(21.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	百日咳(1.0)
日向	なし
中央	なし

流行警報開始基準値: A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
 感染性胃腸炎(20.0)
 百日咳(1.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 4 例。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 日本紅斑熱 1 例。
- 5 類感染症 : 急性脳炎 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	70 歳代	その他の結核 (腸結核)	腹痛
		延岡	80 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	呼吸困難、右胸水貯留
		小林	10 歳代	疑似症患者	なし
		高鍋	80 歳代	その他の結核 (結核性胸膜炎)	発熱、呼吸困難
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70 歳代	—	発熱、発しん、DIC、 肝機能異常、急性循環不全
5類	急性脳炎	宮崎市	6 歳	病原体不明	発熱、嘔吐、けいれん、 意識障害、髄液細胞数増加

■ 全国第 18 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 11.1 で、前週比 53%と減少した。今週増加した疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

感染性胃腸炎の報告数は 16,214 人(5.2)で、前週比 50%と減少した。島根県(12.0)、香川県(11.0)、徳島県(10.8)からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 7,388 人(1.5)で、前週比 40%と減少した。沖縄県(11.7)、福井県(5.1)、岩手県(4.3)からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 26%、6 歳から 9 歳が 25%、10 歳から 14 歳が 19%、15 歳から 19 歳が 7%、20 歳以上が 23%を占めた。

□ 全数把握対象疾患

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	186 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例		
4類感染症	A型肝炎	2 例	オウム病	2 例	デング熱	1 例
	日本紅斑熱	2 例	マラリア	2 例	レジオネラ症	9 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群	10 例	梅毒	1 例
	風しん	3 例	麻しん	2 例		

■月報告対象疾患の発生動向 <4月>

□性感染症

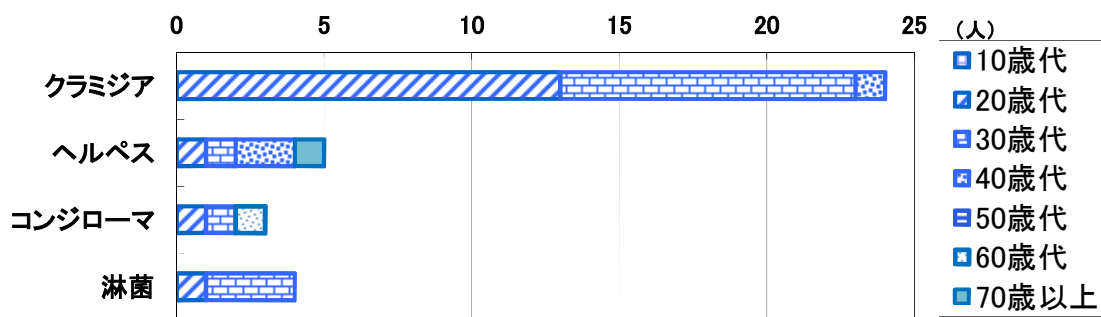
【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は36人（2.8）で、前月比113%と増加した。また、昨年4月（3.4）の約8割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数24人（1.9）で、前月の約1.1倍、前年の約9割であった。日向（5.0）保健所からの報告が多く、男性8人・女性16人で、20歳代が全体の約半数、30歳代が約4割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約1.7倍、前年の約6割であった。すべて女性で、40歳代が2人、20歳代・30歳代・70歳以上がそれぞれ1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告数3人（0.23）で、前月の1.5倍、前年の約8割であった。男性2人・女性1人で、20歳代・30歳代・60歳代がそれぞれ1人であった。
- 淋菌感染症：報告数4人（0.31）で、前月及び前年の約7割であった。すべて男性で、30歳代が3人、20歳代が1人であった。

年齢別性感染症報告数(4月)



【全国】 定点医療機関総数：967

定点医療機関からの報告総数は3,500人（3.6）で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,776人（1.8）で前月比90%、性器ヘルペスウイルス感染症675人（0.70）で前月比96%、尖圭コンジローマ381人（0.39）で前月比91%、淋菌感染症668人（0.69）で前月比91%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は32人（4.6）で前月比97%と横ばいであった。また、昨年4月（7.6）の約6割であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数29人（4.1）で、前月と同程度、前年の約8割であった。70歳以上が全体の約7割、60歳代が約2割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月と同数、前年の約1割であった。0歳と30歳代の報告であった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人（0.14）で前月の約3割であった（前年同月は報告なし）。70歳以上の報告であった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：467

定点医療機関からの報告総数は2,053人（4.4）で、前月比91%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,690人（3.6）で前月比88%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症329人（0.70）で前月比117%、薬剤耐性緑膿菌感染症29人（0.06）で前月比55%、薬剤耐性アシネトバクター感染症5人（0.01）であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第19週(05月07日～05月13日)

疾病名		第18週	第19週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	133	108	17	41	6	2	23	3		7	9
	定点あたり	2.25	1.83	1.06	4.10	0.86	0.40	4.60	0.50	0.00	1.17	4.50
RSウイルス 感染症	報告数	4	1	1								
	定点あたり	0.11	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	24	29		4	11	8	2			2	2
	定点あたり	0.67	0.81	0.00	0.67	2.75	2.67	0.67	0.00	0.00	0.50	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	67	109	21	11	32	16	2	14		9	4
	定点あたり	1.86	3.03	2.10	1.83	8.00	5.33	0.67	3.50	0.00	2.25	4.00
感染性胃腸炎	報告数	269	409	73	79	64	63	47	30	8	35	10
	定点あたり	7.47	11.36	7.30	13.17	16.00	21.00	15.67	7.50	8.00	8.75	10.00
水痘	報告数	76	124	32	25	21	17	20	6	2	1	
	定点あたり	2.11	3.44	3.20	4.17	5.25	5.67	6.67	1.50	2.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	3	2	1								1
	定点あたり	0.08	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	3	5		1	1			2		1	
	定点あたり	0.08	0.14	0.00	0.17	0.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	21	42	8	5	9	5	4	9		1	1
	定点あたり	0.58	1.17	0.80	0.83	2.25	1.67	1.33	2.25	0.00	0.25	1.00
百日咳	報告数		1							1		
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	10	28	10	5	2		3	7			1
	定点あたり	0.28	0.78	1.00	0.83	0.50	0.00	1.00	1.75	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	25	21	5	6	1			4		1	4
	定点あたり	0.69	0.58	0.50	1.00	0.25	0.00	0.00	1.00	0.00	0.25	4.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	13	12	1							
	定点あたり	1.33	2.17	4.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～19週)

2類感染症	結核	83例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	つつが虫病	12例	デング熱	1例	日本紅斑熱 2例(1)
	レジオネラ症	2例			
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎 6例(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	1例	

()内は今週届出分、再掲